



HSK

どぼけいと

December & January

12・1 月合併号

NO.169・170 2014.12.10号

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号513号

発行/2014年12月10日(毎月10日発行)

編集者/我妻 武

住所/〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

H P <http://npolife.net/>

発行/北海道障害者団体定期刊行物協会

定 価/100円



年末年始のご挨拶にかえて

理事長 我妻 武

まずは日頃からお世話になっている個人、団体の方々にお礼申し上げます。

いつもライフに対するご支援、ご協力に感謝申し上げます。

お陰様で2014年はライフが設立してから25周年という節目を迎えることができました。

その大切な節目を記念して、2014年6月に夕張市へ研修旅行を行いました。当日は仕事や家庭の事情等で欠席した者を除いて、ライフ全体としての行動でした。夕張の方々との交流、そして、事前に呼びかけていた寄付金を持参しておじゃましました。全体でのこうした取り組みは暫くぶりのことで、本当に楽しく過ごしましたが、私たち自身が夕張の方々からエネルギーをいただいて帰ってきたように感じています。あらためて私たちライフのやり方で社会に還元することも大切であると確認した25周年記念でした。

2013年、2014年の挨拶は「隗(かい)より始めよ」ということでした。まずは自分たちから行動していこうという思いを込めての挨拶でしたが、今後は障害者福祉という狭い枠だけではなく、この社会に生きる労働者として、多くの困難を抱えている人たちとどのように連帯して社会を変えていくのかが問われます。

25周年の夕張研修は色々なことを検証する良い機会でした。しかし、事業の運営や運動などを振り返ると反省点ばかりの1年でもありましたので、引き続きのスローガンとし、2015年に札幌で行う

共同連全国大会に望みながら、行動していきたいと思っています。

さらにライフとしては、障害者だけではなく社会的な困難を抱える人たちと連帯しながら、社会的事業所を一般化するための実践をより一層進めなければいけません。

これまでの社会福祉制度の枠では、生活保護の問題、障害者の問題、生活困窮者の問題、シングルマザー(ファザー)などの問題は、それぞれが別の枠で議論がされ、それぞれで予算を取り合うようなことが行われて来ましたが、昨今の厳しい財政状況の中では、「ともに働く」ことを大きなキーワードにして、より有効な方法で社会的事業所をつくりあげることが、障害者と健常者がともに暮らせる社会づくりにつながると考えています。

そのためにライフでは、障害者も健常者も、一人ひとりの人権が尊重される社会づくりと共に働く喜びを得るために引き続き活動をしていきます。

2015年もライフのスタッフ、メンバー同と一緒に楽しく仕事をします。

最後に、すべての方さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、どうぞ引き続き、ライフに対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。





～共同連北海道 第1回 共生・共働塾～

共同連北海道大会へむけて

たねや所長 村上 千春

から出て地域で暮らす時代”、“わっぱの会ができてから・共同連結成”など、1970年代からの取り組みのお話がありました。

また、共同連全国大会北海道大会の現地実行委員会結成集会も開かれ、北海道大会プランが提案されました。大会の主要課題としては、社会的事業促進法をどう切り開いていくか、生活困窮者自立支援法を活用しながらどのようにして自分たち流に進めていくか等々があげられています。きらない・わけない・ともにたらくを社会全体へひろめられるよう、参加者全員で確認し合えたのではないのでしょうか。

今回の共生・共働塾開催にあたり、『難しい話もあるけれど、自分たちから動かなければ意味がない!』と考え、たねやの仲間たちにも参加を呼びかけ、いつもより多くの人が集まってくれました。一緒にいろいろな活動へ参加し話しをすることで、お互いの意識を高められるのではないかと思います。そして、来年の大会へ向けて、少しずつですが前進しているような気がしています。

来年北海道で開催される第32回共同連全国大会へ向けての第一歩として、11月15日に『共生・共働塾』が開かれました。共同連北海道ブロック事務局が中心となり、全道の事業所や支援団体、企業などへ呼びかけ、100名以上の方々にご参加いただくことができました。

共生・共働塾では、第1講座で「社会が人を障害化する」と題し、共同連代表・堀利和さんより“社会的「価値と関係」が障害の原因であり、障害を成立させる”、“人間関係が作られる時、その中心にあるのは「その人」ではなく、その人の「病气」でもなく、自分とその人との「絆」”などのお話があり、第2講座で「わっぱの会の取り組みと共同連」と題し、共同連事務局長・斎藤縣三さんより“障害者差別の時代”、“施設や家庭



共同連北海道ブロック会議の感想

元気ジョブ 土門 亨也

先月15日に北農健保会館2階エルムにて、共同連北海道会議が行なわれ出席致しました。

講座①は13:30～14:30で約1時間「社会が人を障害化する」を【講師】堀利和さんから始まり、講座②では14:45～15:45の約1時間「わっぱの会の取り組みと共同連」を【講師】斎藤縣三さんの話がありました。

その中でも「わっぱの会の取り組みと共同連」の話の中で、わっぱの会の分配金制度に感銘を受けました。

- 1、人格の能力、業績、等の評価は一切ない
- 2、全員一律の基本分配金と生活状態に応じた加算金
- 3、どの場所でどんな仕事をしていても同一の分配

4、わっぱの会のサイフは一つ

私は今まで成果主義でノルマ達成に対してプラスαの給料を貰ってましたが、わっぱの会は個人の能力に関係なく、わっぱの会で稼いだお金は平等に分配まさに「わっぱの会のサイフは一つ」と言う意味は理解出来ましたが大変な取り組みだと思いました。



「共生・共働塾」に参加して

コン・プリオ ひだまり 小野 やよい

共同連の講座に初めて出席させて頂きましたが、開催前にチラシを見て、ふたつの講座のタイトルに強く関心を持ちました。社会的事業所の必要性や共同連の目指すところを、沢山の事例や取り組みの中から知ることが出来ました。まだまだ自分には考え足りない部分があることに気づかされた一日でしたが、“共に働く社会をめざす”一員として、いままで自分が思っていた『常識』を一旦リセットし、より深く共同連の目的を知り、理解していけたらと思います。

個人的には、自分が小中高校生の時に感じた“障害児への差別”、自分の子供が学校へ通うようになって感じた「共生、共学」とはほど遠い現実。～わけない・きらない・ともに～の思想を、子供の頃から当たり前に見える社会であったら、その先の～共に働く～が特別なことではなくなるのにと、共に平等な関係で生きていけるのではないかと思います。

少しでもしなければ…

ころや 山本 守一

共にという事は、出来る人も出来ない人と共に働くそのギャップをどうする斎藤さんはしていたけれども、僕は何も出来ない、仕事も出来ないただ年金をもらって生活をして維持していくために、自分の出来る範囲でもいい、とにかく体を手いっぱいのをしなければ、共に働く事といえないのではないのでしょうか。

共に働くとは…

きばりや 加藤 信一

堀さん、斎藤さんのお話はとても勉強になり、貴重なものであったと思います。

堀さんのお話は経済学的な側面から見たものであり、斎藤さんのお話は現場からの声という印象を持ちました。私はお二人のお話に共通しているのは共産的、つまり平等に分配ということが語られたのでは、ということを感じました。もちろんお二人とも共産主義に偏っているという訳ではなくて、障害をもった人たちの中ではそうになっていくものであると私もライフで仕事をしていて共感します。日本をはじめ世界の資本主義国は強くて速くて正確な人材が求められます。しかし、小さくても、弱くても、みんなが集まる集団のちからというものも必ず大きなちからを持っていると思います。みんなで

平等に分配…ということが共に働く…ということか
どうかは私にも良く分かりませんが、私は集団のちからを信じています。

共生・共働塾に行ってきました

たねや 小山 譲

最初は堀さんの講演会から始まりました。「社会が障害者を生む」の一言から始まった時は、おお!! と思いましたが、話が進むにつれ、障害者の仕事スピードに合わせると企業的に不利益が生じるという流れになり、言っていることはもったもたとは思いましたが、そこを肯定してしまうと共生・共働を否定することになるなぁと聞いていると、一例をあげ、ただ紙を切るだけという行為が仕事になるかも（海外で切り抜きを趣味でしていたら仕事につながった事例もあり）という未来の話と思想家の話で締めましたが、思想とか倫理にはそんなに詳しくないので具体的には書けませんが、そこまできると哲学になるため話が複雑になり理解できている人は少ないのではないかと思います。感覚としては大学の講義を聞いているような…大学には行ってもいいがね。

辛口に言うと、色々な障害を持った人がいる中で「わかりやすく面白い話」ではなかったように思います。たくさんの方が理解し、わからない人も助け合いでやっていくというので、もう少し考えた方がいいのかなという感想です。

堀さんの話は初めて聞いたため、そちらの話をメインに書かせていただきました。

講座① 『社会が人を障害化する』

13:30
14:30 【講師】堀 利和さん

・堀 利和さんプロフィール

静岡県清水市生まれ。
東京教育大付属盲学校高等部卒。
明治学院大学卒。
社会事業学校卒。
視覚障害者労働問題協議会代表、障害者生産協同組合
マッサージユニオン理事等を歴任し、1989年から参議
院議員2期。現在、NPO法人共同連代表。



講座② 『わっぱの会の取り組みと共同連』

14:45
15:45 【講師】斎藤 縣三さん

・斎藤 縣三さんプロフィール

1971年わっぱの会(名古屋市)創立。
1984年共同連結成に参画。
現在、NPO法人わっぱの会代表。
NPO法人共同連事務局長。
共に働き共にくらす場づくりを始めて43年を迎えるが、
今ようやく時代が共生・共働を求めるようになってき
た。社会的事業所の制度化は困難を極めるが、やり遂げねば。



札幌市リユースプラザ

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

札幌市リサイクルプラザ 発寒工房

〒063-0835 札幌市西区発寒15条14丁目2-30

TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816


<http://www.reuseplaza.jp/>


★ ゆく年くる年 ★

発寒工房 ジョン・ウルク

多事多難な今年も暮れて、新たな年に向かっていくところでございます。

去る年には無事に2回目の入札で落札され、喜びと一層の重責を感じております。再び、未熟な経

験を踏まえ、成長に向け勇進する意志であります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

来る年も皆さんにとってお元気で平穏な年になりますよう祈っております。



齋藤 悦久
2015年は
初めてに挑戦

★ 2014年度を振り返って&2015年度の抱負 ★

発寒工房 齋藤 悦久

2014年、良かったのは何と言ってもライフ系列のみんなで行った夕張。仕事を途中抜け出すような形で参加した会議も初めてのことで強く印象に残りました。飛び入り参加で歌ったり踊ったり乗りまわしたりでしたね。来年も大型なイベントがあったら参加しようと思っています。

逆に悪かったのは、欲を出しすぎて後半疲れちゃったこと。これはよくあったことですね。

2015年の抱負は「初めて」に挑戦したり聞いたりすることです。なんでも最初というのは今年も色々知ったので来年もまた初めてに触れたいと思います。横断歩道で身体障害がある方を助けたのも初めてでした。



発寒工房 大井 敏彦

2014年は仕事の面では少しずつではあるが、できることからやるようにしながらも、新しい事にチャレンジして、多少できない事もやるようにしてみたという点では、ステップアップできたかなと自分的には思っています。

個人的には正月3日に列車の中で倒れたり、出だしは体調面に不安があったがイベントには全て参加して会社も休まず乗り切れたのでその点は良かった。

大井 敏彦
2015年も
ステップアップ!

3月には父の死もあったが、ライフの夕張のイベントにも参加でき工房の観楓会などもあり、充実した1年だったと思います。

2015年は今年以上にステップアップできるように頑張りたいと思います。

発寒工房 関 隆広

2014年はいろんなたのしいことや、とてもがんばったこともありました。

まずわ、いいおもいでや楽しいことはライフのみんなとゆうばりにりょうこうに行ったことと、会社でかんげいかいやかんぼうかいをしたことです。

それと4、5人でふらのへ行ったこともたのしかったです。

それと仕事のめんでは、いっしょうけんめい言われてもへこたれずにやったことと、ヤードのせいをしてはこんできたことです。2015年もがんばります。



関 隆広
2015年もがんばり

松永 クニ子

飲み過ぎ・食べ過ぎに注意!

**小野 克代**健康第一! 無理せず楽しく過ごす! よろしく
お願いします。

2014年のカレンダーが終了です。あっという間の1年でした。そして平成25年度の事業も2月21日の冬まつりイベントを残すだけとなりました。

2014年は2度の大きなドキドキを体験しました。まず1回目は～発寒工房とリユースプラザの入札でした。2月中旬に実施されると思っていたら「一般公募で3月5日開札」と聞き「えっ～どうなるの…」と、果たして4月から通常営業がスムーズにできるのか? 不安でいっぱいでした。引き続きNPO法人ライフの管理が決まってホッしていたところ、「北地区リサイクルセンター10月4日開館」です。9月16日の開札が不調に終わり再入札。次は29日に開

「2014年を振り返って」♡

リユースプラザ館長 **松永 クニ子**

札～開館までに4日しかない…更に「古着の回収」も、この日スタートということでドタバタしました。が、しかしリユース職員、各地区リサイクルセンター担当者で無事乗り切ることができました。

去年も思いましたが、年を追うごとにリユースプラザと地区リサイクルセンターの認知度が上がっています。

10月のリユースマルシェがSTVラジオのサテスタ歌謡曲にイベント全体を紹介していただく機会がありました。ディレクターとリポーターの方から「札幌市の施設で障害者と市民が協力してふれあうことのできるイベントを、実施していたことを初めて知りました。たくさんの市民に知ってほしいです。」と言われた時、うれしい反面、リユースプラザのこと、障害者と一緒にイベントを繰り返していることが周知されていないことを実感しました。

2015年の目標はもっと! もっとたくさんの人に環境とごみ減量と障害者活動の正しい理解を広げるべく、更なるPRとパフォーマンスを繰り返していきたいです。ライフの皆さまの更なるご協力よろしくお願いします!

★2015年のリユースプラザ職員の抱負★



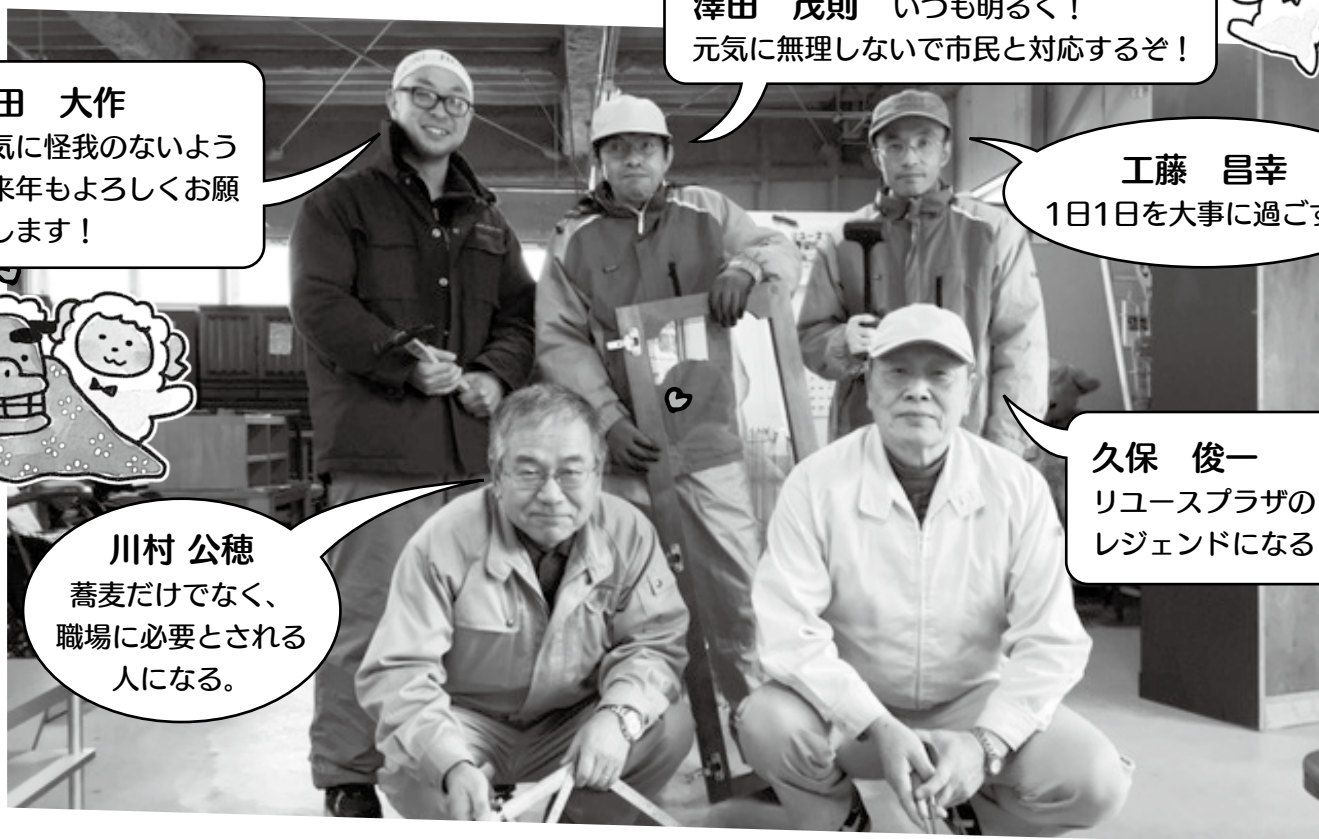
澤田 茂則 いつも明るく!
元気に無理しないで市民と対応するぞ!

西田 大作元気に怪我のないように
来年もよろしくお願いします!

工藤 昌幸
1日1日を大事に過ごす!

川村 公穂蕎麦だけでなく、
職場に必要とされる
人になる。

久保 俊一
リユースプラザの
レジェンドになる!



アウトソーシングセンター 元気ジョブ

札幌市中央区南8条西2丁目5-74
市民活動プラザ星園103
TEL 011-596-6581
FAX 011-596-6582
E-mail: genki@hatarakutei.jp



イヤア～この師走の時期に選挙があるとは思いませんでした。まさに一寸先は闇の世界、政治の世界は伏魔殿恐ろしい魔物が住んでいるようです。

消費税は安いほうがいいにきまっていますが、国民に受けのいいような政策のバーゲンセールのような状況で「我が亡き後に洪水来たれ」というか、今さえよければどうでもいいというような政治になっている感じさえしてしまいます。

票を入れて任せてくださいと有権者をお客さんにするのでなく、もう少しこのようなことを一緒にやろうというような呼びかけができないものでしょうかね。

1千兆の借金を背負い社会保障に穴があいてきている今、公助を求めながらもセーフティネットを実態として、どのように身の回りでつくりあげていくことができるのかということが求められているのでしょう。



* 共同受注窓口としての可能性を追求 *

所 長 織本 義昭

元気ジョブがスタートしてアッという間に6年目にはいりました。

ゼロからスタートし、手探りを重ねながら取り組んできましたが、企業・行政機関などからの発注と、その業務を引き受けてくれた事業所の協力の支えがあって、おかげさまで成約件数・金額を伸ばしてくることができました。

しかし石狩管内でのB型の工賃は、2013年度平均で18,848円前年比0.6%減となっており、苦しい現状は続いています。

人手不足？ のせいか企業から施設外就労などのニーズは高まってきており、昨年実施された「優先調達」法案を受けて、行政機関からの問い合わせも徐々に増えてきているなかで、あらためて「共同受注窓口」としての元気ジョブの役割を果たしていきたい。

元気ジョブは、受発注者相互の仲人で、双方に正確な情報を提供することはもちろんですが、依頼があった業務を事業所に伝えるということではなく、双方の条件なり希望をとりもちながら、どのような形だったら作業が可能なのかサポートすること、作業を通じて企業・行政と事業所の関係をより深く作り変える触媒として、工賃アップと単純に言えば受発注者・元気ジョブがパートナーとして仲

良くなることをめざしています。

最近個人請負ではなく法人として作業する事業所の持っている潜在的なパワーというのは、物凄いものがあるのではないかとことを実感しています。

- ①作業場所をもっていること
- ②人的資源をもっていること
- ③事業所の共同作業ができること

その強みをいかんなく発揮できれば新たな可能性が生まれるのではないのでしょうか。

社会的なニーズは掘り起こすことなしには出てきません。

この5年間の活動を振り返ってみると、めざした道のりはまだまだ遠いですが、事業所と共に歩みつづける元気ジョブでありたいと思っていますので今年もよろしくお願いします。

羊年ですので「群羊駆りて猛虎を攻む」にちなんで、まとまって虎をも倒す勢いのある年にしていきたいものですね。





ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション ゆい結

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

ふと、思うこと

所長 佐々木 泰彦

年末に近づき、自身の動きに変化が出てくる季節になると、冬用の対応にしてもらわなくてはならなくなる。(雪道対応) 今の家に住み、もう13年が過ぎようとしている。毎度この時期になると、除雪業者に前もって連絡をしておくなど、身の周りのことを整え始めたりする。

こんな風に自分の生活の動きを、家族や日々のヘルパーや何か所かの事業所とスムーズに計画できている利用者はどれだけのいるのだろう。

実際、自分にも降りかかった事が何度もあるが、居宅支援事業所の減少に伴い、事業の縮小やヘルパーの減少によりサービスを受けられず、途方にくれてしまったこと…。これは各事業所が抱えている問題でもあるが、何人かの利用者を自らの事業所のみで抱え込んでしまっていることが、1つの原因なのではないかと思う。

私は以前から近くの事業所同士の連携を広げ、

利用者の抱え込みをせず対応できる事業所の時間配分を少しずつ広めていくことで、お互いの動きをスムーズにできるように進めはじめていた。

先月、初めて近郊の5事業所との話し合いを設け、互いの課題・悩みごとをうちあけ、今後も話し合いの時間を作ろうと思っている。

利用者のニーズにどこまで応えていくか、自立に向けてのサポートが課題である。

ヘルパー自身の考え方の違いによりおこる基本的な生活常識など、個々の対応の研修も必要だ。根底にある基本的な生活に対する事業所の考え方など、沢山の問題が山積みだが、多くの事業所と様々な問題点を話せるようになっていきたいと思っています。

今年一年もいろいろありましたが、皆様方には大変お世話になりました。新年もどうぞよろしくお願いいたします。

ひとりごと・・・

サービス提供責任者 齊藤 典子

元モデル。事故で半身不随になり、車イスで、全国を講演している女性は「まず自分の姿をたくさんの人に見てもらうことが大事」と言った。

福祉の進んだ国に比べると、日本は街の中で障害者と会う回数が少ない国らしい。おそらく昔はもっと会わなかったはずだ。これは、実際の人数が少ないということではないだろう。めったに会わないから関わり方も知らない。どう対処していいかわからない。日本が障害者にとって住みにくい国だとしたら、問題はそこにある。

数少ないパラリンピックの番組をすべて見たという人が「何か街で障害のある人と会っても、対等に話が出来そう。正直言って今まで、そういう人たちを見ないようにしていたかも・・・」と言った。

たぶん多くの人がそうなのだろう。直接、会ったり見たりする回数が少なければ、特別視してしまう。

「まず！ いっぱい見て、見慣れてほしい。それで身近に感じてほしい」

車イスの女性が言っていたこの言葉が、今、改めて思い出された。



就労継続支援事業A型
共働事業所・印刷物版下制作・製本
・紙焼き写真のデジタル化
・農業・喫茶・ポスティング
・DM発送・その他の軽作業

まばりや



2014年を振り返って…

早いものでもう少しで年越しです。下請けの軽作業に加え、石狩の畑事業、印刷の版下製作、カフェ事業など、今年も毎年のようにあわただしい一年でした。

なんと言っても2年目を迎えた石狩の畑は、2月頃より作付け計画を行えたことで、1年目より様々な野菜を育て、余裕のある収穫ができ、多くの皆様にお届けできたのではないかと考えております。そして、我が従業員も慣れた手つきで仕事ができるようになり、頼もしい姿も見ることができました。

また、カフェにおいても、畑で採れた様々な旬の野菜を使用し提供することで、お客様に喜んでいた

共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F
TEL/FAX : (011)758-6533

所長 岡田 悟

だけのカフェに着実に近づいていると思っています。

この感じだと再びあつという間に来年の師走を迎えることとなりそうですが、きばりやの事業が少しでも上向きになるよう、きばりや一同頑張ります。

是非皆様のご協力をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。



～石狩市花畔の畑収穫情報～
じゃがいも(男爵・メークイン・北あかり・スタールビー・こがね丸・シャドークイーン・さやあかね・とうや)
まめ(金時豆・黒豆・大豆・白花豆・紅花豆・貝豆・パンダ豆)など



Back to the ☆ きばりや

石川 和寛

「皆様初めまして…」というか、なんというか…。まあ、どうも、お久しぶりです。この度、人事異動によりもじやからきばりやへ約3年振りに戻ってまいりました。私がフマネット党代表の石川でございます。(1度も呼ばれたことがないけど…) フマネット党、自分を含めて3名がきばりやへやって参りました。

戻って来た最初の仕事は畑でした。畑での最初は豆をツルからはずすという作業でした。豆を取りいの、殻を捨てに行きいの、新しいのを持ってきいの繰り返しでした。これが結構しんどい(汗)でも、まあ、楽しい^^

もじやに居た頃はフマネット部屋でずっと作り続ける毎日。動けなかった日々。畑やポスティングに行ってる連中が正直羨ましかった、動けるしネ…。やっ…と解放されたって感じ。

話は畑に戻りますよ。せーの、えい! どこまで話した? 豆のとこだ! コンテナに詰めた豆をきばりやへ

持ち帰った後が一番大変な豆の選別。これがまあ～大変。大変だけど充実します。久しぶりに動き回れるぞー!!



元気に豆の選別。左から真光さん、岩崎さん、石川さん

～cafe de キバリやより～

『ケーキセット』



ホットカフェオレ: 520円

コーヒー/紅茶: 470円

年末年始の忙しくなるこの頃…

ちよつと贅沢にカフェオレとケーキはいかがですか。日替わりで、きばりやの野菜や豆を使ったケーキやマフィンも登場します。温まりに是非お店へ足をお運びくださいませ。お待ちしております♪



はじめまして

岩崎 佑司

11月頭から異動してきました。各種野菜の選別作業や軽作業等を、個性豊かな仲間達と協力しながら頑張って行きますので、よろしくお願いいたします。



きばりやにきて

真光 和徳

11月よりもじやからきばりやに異動してきました。きばりやに変わってから2回目であって、最近の仕事は石狩市花畔で農業をやりました。これからも自分のペースで頑張っていきたいと思います。

〒064-0808
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584
E-mail:mojiya@npolife.net

- 印刷・編集・制作・出版・企画
- テープ起こし
- 名刺、小冊子の版下作成
- ホームページの作成管理

デンマーク里帰り旅行記

清野 未来



学校内のパーティーの様子

個人的なことです。10月24日～11月2日までお休みを頂いて、昨年春まで留学していたデンマークの学校、エグモント・ホイスコレに日本から旅行に行ってきました。現地で同窓会が開かれるのに合わせての渡航でした。

エグモント・ホイスコレは、デンマークにある障害者と健常者が共に学ぶ学校です。と、ひとことでは表現できないとても個性的な場所なのですが、学生の抱える障害の種類や程度も多種多様で、障害学生は健常の学生をアシスタントとして雇用し、日常生活介助を受けながらの生活となります。

この学校を紹介すると、それだけで文章が終わってしまうので、今回は改めて行って感じたことや、車イスで海外に行くこと自体、なかなか想像がつかないと思いますので、そのエピソードを書いていきたいと思います。

デンマークにもう一度行こうと決めたものの、そこからが大変。航空券、宿泊先の手配は勿論、航空会社への車イスの仕様連絡まで自分ですべて行いました。当日、成田で今回旅行に同行する留学時代の同期と合流後、直行便を利用して10時間ほどかけて、首都コペンハーゲンに向かいます。現地時間15時過ぎに到着。日本時間は朝。ふらふらですが気合いで乗り切っている状態。

コペンハーゲンに一泊してから、翌日電車で3時間かけて学校の近郊の街へ。さらにバスを乗り継ぎ1時間ほどで学校があります。大荷物+車イス+女性2人という私達を見かねてか、バスや電車の乗降でも多くの人に助けられました。

学校に到着した時には、外国に来たのではなくて、地元へ帰って来たような不思議な感覚が強くなりました。

現在の日本人留学生5人に迎えていただき、学校

の食堂へ。知った顔も、そうでない顔もたくさんいますが、車イスに乗っていたり、あるいは喋れなかったり、そういうことは関係がなく、自分の古い友人たちがそこにいて、私は皆に会いに来たんだと、その場にただで感じられる、私にとってそんな場所がエグモントです。障害はただその人の個性の一部でしかありません。

到着した日の夜には、学生たちが企画したパーティーがありました。パーティーといっても日本の感覚でいう飲み会とは違い、お酒を飲んで踊るダンスパーティーです。自分で飲めない人もストローを使ったり、アシスタントに飲ませてもらって、ガンガンビールを飲み、健常者と一緒になって回されながら踊りまくるという、日本では到底考えられない光景が繰り広げられています。しかも終わるのは深夜3時4時が当たり前。すごいものです。

滞在中2日間だけ授業に参加(太極拳、ヨガ、寒中水泳!)しました。デンマーク人は寒中水泳が大好きなので真冬でも平気で海に入り、サウナに直行します。こういう独特な文化も懐かしさがありました。

滞在中には、同行者に日常の介助(移動の際の安全確認、掃除など)をお願いしていました。エグモントでは、いつどんな介助をが必要か考えるのは自分で、ただ困っていてもその様子を見て周囲が手伝ってくれることはありません。「いま自分には何が必要か」を考えながら生活し、自分と向きあう時間を持つてました。週末に開かれたOB会では同級生と再会し、みな日本から来たというと大変喜んでくれ、素晴らしい時間を過ごすことができました。

海外に限らず、積極的に外に出て旅行したり活動していくことは、異なる文化や世界を知ることにつながると思います。一度行ったことのある国の同じ学校でも、もう一度行くことでまた新たな発見が得られました。これからも世界に対する好奇心を失わずに、人生を楽しんでいければと思います。



NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
共働サービス たねや
 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32
 テラ二十四軒1階
 TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088
 taneya@npolife.net

- ・出張販売
- ・配送業務
- ・チラシ折り
- ・封筒詰め作業
- ・箱折り・シール貼り
- ・清掃委託業務
- ・その他委託業務



『2014年を振り返って』

野崎 友宏

2014年も残りわずかとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年を振り返りますと、2014年4月にライフに入社しましたので、まだ8か月ではありますが、近年にないくらい中身の濃い時間を過ごさせて頂いていると感じています。たねややイオンでの通常業務にはじまり、各種イベントへの参加や、最近ではヘルパーステーション蘭結で介護の仕事も始めるなど、生まれてはじめての経験を非常に多く積ませて頂きました。そして、そんな経験を踏まえつつ2015年も、イオンでは業務効率のアップ！ たね

**札幌駅前地下歩行空間
「カイマチ」にもぜひお越しください！**

出店予定 1月19日・1月20日
AM10:00～PM6:00

やでは、新規販路や店舗PRの拡大、商品ラインナップも増やすなど販売部門の強化！ 蘭結では、介護職を始めて日も浅いため、まずは1人前になる！ など、それぞれの業務でまだまだやりたいことが盛りだくさんであります。このように、新たな経験を積めることに喜びを感じながら、2015年も引き続き全力で頑張っていきます！


「Facebookページができました!!」

ついにたねやのFacebookページを公開することができました。写真の撮り方・文章の作り方などまだまだ手探りですが、たねやを知ってもらったり、軽作業や販売日程・商品情報などを載せるためにみんなで作っています。ページへのアクセスは「共働サービスたねや facebook」で検索していただくか URL(<https://www.facebook.com/taneya.life>)を直接入力してお越しください。みなさまの「いいね」をお待ちしております。

「来年のもくひょう」

井口 真二

ぼくの来年のもくひょうはその仕事をふやしたいです。今年の反省は出張販売がちょうしの悪いときが多くて、すこしすくなくなりました。出張販売もできるかぎりいけるようにしたいです。

来年もがんばります。

「久しぶりに店員をしてみて」

木原 悟志

この前用事があってたねやに夕方行ってきました。待たされてる間に宛名ラベル貼りをしたりしました。

お客様が来店されて、他のメンバーが掃除やかたづけで手はなせなかったのが、本当に久々にレジをしました。つり銭の受渡しを間違わないか少し緊

張しましたが小山君が横で計算してくれて合計金額とおつりの額を言ってくれました。スムーズに受渡しも出来てほっとしました。

たまには店のことをするのもいいと思いました。

「新年、新たなたねやのはじまり」

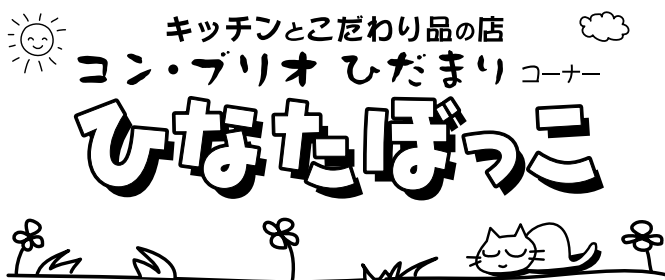
小野寺 宏基

冬の売れ筋はチョコレートでしたけど、僕は今シーズンもチョコレートがたくさん売れる可能性が高いと思います。

来年はたねやの皆さんで力を合わせ販売もがんばりたいです。ポスティングに行く人も多くなったので、ポスティングも助かると思います。

僕はこれからみんなと一緒に仕事をがんばっていきます！





コン・ブリオ ひだまり
 札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1階
TEL 615-4131 FAX 615-4132
 E-mail : konburio@npolife.net
 営業時間：月～木10:30～17:30 金10:30～21:00 土10:30～14:00
 休業日：日曜、祝日、年末年始

今年のひだまり!

所長 小野寺 恵

今年も1年が過ぎようとしています。”アッ”と言う間に過ぎたように感じています。

ひだまりでは、働く人たちの出入りが多かった年になりました。20代～40代の新人さんが何人も加わり、お弁当、食堂、まちかど荘の食事、市立病院の清掃と皆で頑張っています。

明るく楽しい場所を作って、お客様にもお食事を楽しんで頂ければと思っています。もちろんおいしい料理を提供することが一番です。

これからもひだまり一同、努力いたします。今年も1年間有難うございました。



☆キッチンレシピ!

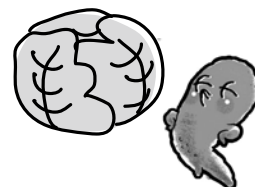
年末年始、疲れた胃腸に!～♪

甘みたっぷり♪

冬キャベツの簡単ポトフ!

☆材 料☆ (2人分)

- ・キャベツ……(小)1/2個 ☆洋風スープの素
- ・じゃがいも ……(大)1個 (チキン・顆粒) ……小さじ1
- ・鶏手羽先 ……4本 ☆水 ……3カップ
- ・にんにく ……1片 ☆塩 ……小さじ1/4
- ☆粗挽き黒こしょう…少々



① キャベツやじゃがいもは食べやすい

大きさに、にんにくはみじんぎり。手羽先は裏側骨にそって切込みを入れ、塩、こしょうをまぶす。

② サラダ油大さじ1を中火で熱し、にんにくを香り立つまで炒める。キャベツ、じゃがいも、手羽先を入れ、両面に焼き色がつくまで焼く。

③ ☆の材料を加え、煮立ったら15分ほど煮る。器に盛り、粗挽き黒こしょうを少々ふる。



この時期のキャベツは葉がかためで加熱しても煮くずれしにくく、炒めても水っぽくなりにくいのが特徴。ビタミンCが豊富で免疫力を高め、胃の粘膜を保護するビタミンUも含まれているので、この時期に積極的に摂りたい野菜のひとつです!

サッカーコンサドーレの試合を見て

藤井 孝雄

11月9日(日)に札幌ドームでコンサドーレ対カマタマーレのしあいを見ました。

カマタマーレの選手が前半にシュートを決められて、後半になるとコンサドーレの選手がシュートを決めました。けっきょくドローに終わりました。

コンサドーレVS

カマタマーレ讃岐 in 札幌ドーム

熊谷 新

11/9(日)に人生初のコンサドーレの試合を観に行きました。13:00からのキックオフでしたが、その前に藤井さんとビール(サッポロクラシック)を買い昼から飲んでいました。(笑)

それから始まった試合では、沢山のサポーターが活気を上げて応援している中、中々ゴールを譲らない相手にチームにコンサドーレが、ねばってボールをとったら勢いよくゴールに入れますがはずれてしまい、僕も思わず、大声を張り上げてしまいました。

後半にコンサドーレがゴールを



サッカー観戦で

松橋 勇祐

11月9日(日)に札幌ドームでサッカーJ2コンサドーレ札幌がカマタマーレ讃岐と対戦しました。

結果は1-1で引き分けました。惜しいシュートもありました。残念ながらプレーオフも無くなりました。来シーズンJ1昇格期待してます。



NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ

こころや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5
マンションMOM0102

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

kokoroya@npolife.net

お米精米・販売
チラシ折り
封筒詰め作業
箱折り
シール貼り
清掃委託業務



『こころや2014から2015へバージョンアップ』

所長 田中 伸和

今年も終わりに近づいてきました。一年の締めくくりに向け、皆様お忙しいことと思います。こころやでも年末に向けていつもより忙しい日々をおくっています。

2014年、こころやでは色々な新しい仕事が少しずつ増えています。まだまだ毎回アクシデントだらけですが、関わる皆様の力添えや理解もあり、なんとか無事、怪我や事故なくその日を終えてきています。スピードはゆっくりですが確実に前進できていると思っています。

新しい仲間も増え、これからも色々な仕事にチャレンジしていける、と思っています。

来年はよりいっそう前進、バージョンアップができるよう、こころやの皆で頑張りたいと思います。



「清掃について」

山崎 健一

こころやのそとにでてはじめての清掃に行くことになりました。

ぼくはこうしゃの中の清掃をしています。ガラスふき、ろうかのモップがけ、トイレのはきそうじをしています。はじめの時は少しつかれましたけど、だんだんやっていくうちに慣れてきました。

これからもがんばります。



「こころやと福の木を通して」

後藤 高志

こころやには去年の11月に通い始めました。それまでは福祉印刷の会社で約19年間働いていました。福祉印刷では、印刷の版下のデータ管理の仕事をしていました。それで、会社の帰りに交通事故を起こしてしまってから、こころやに通い始めました。

月～木曜日はこころや、金～土曜日は福の木で働いています。仕事は、こころやでは、新聞の折、シール貼り、帯附、や米の精米やいろいろあるけど自分はやはり広報誌の入力作業やあとは出来る作業を選んで仕事をしています。

福の木では、シーツを切ってウエスにする作業やクッキー作りをやっていて、自分はウエス作業と月間予定表をパソコンで作る作業をしています。

「仕事」

柳瀬 司

折り、丁合い、シール、袋入れをやったりする。

「雑談」

山本 守一

私たちは米を精米したり作業をしています。手を動かしながら、たのしい話が当たりして笑いがあったり、なるほどと思うときがある。

そんな時ほど作業がスムーズ行くことがあります。そして食事をしたり雑談をしたりしている時がゆかいになりみんなの目が輝き始めることもあります。だから雑談をするということは、ものすごくいい事なのかもしれません。

たまにはけんか、それはちゃんとだめてくれる人がいます。

こころやの.....にゅーいす!!

小林 亜希

今年10月にこころやにはいった小林亜希です。

ゆったりしたふいんきのなか、やれる範囲内でやっています。

しゅみは休日にイオンとかイトーヨーカドーにウインドウショッピングへ行ってます。今後ともよろしく願いいたします。



ライフで共に働く 障害者メンバー募集中♪

ライフでは、色々な職種の事業を展開しています。一度働いてみて自分に合わないなと思ったら、ライフの中で別の職種を探すことも出来ます。お気軽に、自分にピッタリのお仕事探しをしませんか？

就労継続支援事業Ⅲ型 たねや

♪ たねやで一緒に販売をしてみませんか!?



たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。

店舗では「体に優しい」食品や、手づくり雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。

一緒に自分に合った仕事を探しませんか!?



☀ 就労継続支援事業Ⅲ型 ひだまり

コン・ブリオひだまりでは、店内で提供するお料理とテイクアウトや従業員用のお弁当を作り、笑顔で接客し、体に優しい商品を売っております。

現在、メンバー13人とスタッフ5名で一生懸命楽しく働いております。

料理が出来なくてもスタートはみんな一緒にす！みんなが優しく教えてくれます★

一緒に働いてみませんか??!
ご応募お待ちしております!!

問い合わせ:011-615-4131
担当 小野寺・小野



私たちと一緒に
楽しく働かせんか!!



※毎日元気に出勤できる方優遇
問い合わせ:011-613-0611
担当 村上・奥井



就労継続支援事業Ⅲ型 こころや

あなたのこころに!!
私のこころに!!
『こころや』です。



『こころや』では下請け作業やお米の卸し・販売の仕事を通じて、個性豊かな仲間たちが、時には面白く、時には真剣に仕事に取り組んでいます。

一緒に働いてみたいという方はもちろん、見学だけでも構いません。ご連絡お待ちしております。

問い合わせ:011-614-1871
担当 田中・小黒





NPO 法人 札幌障害者活動支援センターライフ

ゆめぴりか

ゆめぴりか
大ニュース!

平成26年度産低農薬米 ゆめぴりか の年間契約販売のご案内

年間60kg以上(10kg単位)の注文から契約させていただきます。

■5%割引

年間契約をしていただくと値段より5%引かせていただきます。

通常5kg 2,500円、10kg 5,000円のところ
60kgの場合30,000円が28,500円になります。

■有効期限

2014年10月1日～2015年9月30日の1年間

■配送について

年間60kg以上契約のお客様は配送料無料。
範囲は琴似周辺応相談。※ご希望の方はこころやへご連絡下さい。FAXまたは
は郵送で申込み書を送付させていただきます。

お好みに応じて精米いたします。(玄米・7分づき・白米)

分づき米とは?..... 玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「分づき米」。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいとこ取り”の分づき米が、今大きな注目を集めています。

栄養価
たっぷり!!

白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

※ ご要望に応じて玄米、分づき米(7分)、白米まで精米いたします。

精米したて!!..... ご注文をいただいてから精米し、お届けいたします。精米したての新鮮なお米をご賞味下さい。

新鮮!!

本田農場生産の..... 除草剤・イモチ防除剤、各1回のみ散布して栽培しています。
低農薬栽培は?低農薬米で
安心・安全!!

..... お買い求め・年間契約のお申し込みは



こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOM01F
TEL:011-614-1871 FAX:011-613-9323

ライフの事業所 ころや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

絶賛発売中

障害者として生まれた満美。

話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で
自殺まで考えた彼が今、

『生きていて幸せだ。』と言えるのは…

岡林満美、渾身の一冊、ぼくたちだって人間だ!!



CD 岡林満美
僕たちの小さい命
同時発売!!

NPO ライフブックレット No. 3

2012年8月31日発行

『ぼくたちだって人間だ!!』

定価 800円(送料別)

A5 判 134ページ

2012年8月31日発売

『僕たちの小さい命』

定価 300円(送料別)

※ 同時購入 1,000円(送料別)



私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使われることが多いように感じられるから…

本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぽろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.2 2008年8月31日発行

『収容施設はもういらないと思うまで』

A5 判 72p 定価 840円(送料別)

社会的排除からインクルージョンへ 経済の民主主義と公平な分配を求めて



危機の時代こそ
新しい考えを試す好機!
社会的事業所促進法を!

日本発
共生・共働の
社会的企業

定価 2,100円(送料別)

編者 NPO法人共同連

2012年9月10日発行

195×135 240 p

震災復興は雇用の創出から いまこそ社会的事業所の出番です!

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。

社会的事業所とは何か?

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。



NPO ライフブックレット No.2 2011年6月30日発行

『誰もが働ける社会を』

A5 判 140 p 定価 1,000円(送料別)

●ブックレットのお申し込みは ——

NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ 1F

TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323

mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/

🙏 ご協力ありがとうございます 🙏

寄付金

三田 明外 様 濱中 邦彦 様 西川 捨克・紀野 様 匿名 様

アドボケ購読料

三田 明外 様 和島 正博 様 熊谷 智義 様 谷角 育子 様
今井 孝子 様 村中 一美 様 高橋 亨 様 匿名 様

ありがとうございます🙏

私のオススメ

著者:東田 直樹「自閉症の僕が跳びはねる理由」

～会話のできない中学生がつづる内なる心～

コン・プリオ ひだまり 小野 やよい

14年前、結婚と同時に自閉症の弟の義姉になった私。彼とは“会話”という手段でコミュニケーションがとれず、表情や行動を探ることしかできませんでした。視線が合わないこと、質問がオウム返しでかえってくる、私にとって今までにない経験の始まりでした。

この本の著者は、お母様から“筆談”という手段を身に着けていただき、今ではパソコンや文字ポインティングにより、援助無しでのコミュニケーションが可能だそうです。小3の時に書いた作文が絵本となり出版されたのが作家としてのデビューのようですが、22歳になった現在、詩集からエッセイ、小説まで幅広く執筆活動をされています。

中3だった彼は著書の中で自分の“カラダ”をこう

表現しています。

僕たちは、自分の体を自分のものと自覚したことがありません。いつもこの体を持て余し、気持ちの折り合いの中でもがき苦しんでいるのです。

言動・行動が理解されず、不安や恐怖を抱えている当事者の思いを、本人の言葉から知ることができる東田さんの作品を、ぜひ一度読んで頂けたらと思います。心の扉が開かれ、違った目線で物事が見えてくるかもしれません。



出版社: エスコアール 価格: 1,728円

～ライフカンパのお願い～



NPO札幌障害者活動支援センターライフでは、設立して25周年を越えたところですが、これまで何か行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、この2,3年皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思います。

◆ 振り込み先

北洋銀行	琴似中央支店 普通預金 4606735
加入者名	特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
札幌信用金庫	琴似支店 普通預金 3296744
加入者名	特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
ゆうちょ銀行	振替口座 02710-4-63485
加入者名	NPO札幌・障害者活動支援センターライフ

編集後記

本号が届く頃は選挙も終わって落ち着いた頃と思う。結果は、はてさてどうなっていることや。去年の年末年始号の編集後記は、権利条約のことでホッと、生活保護や秘密保護法、TPPでどのように変わるのか不安だと書いていた。不安はまだ解消されていない。福島第一原発の処理は進まず、被災地の復興も相変わらずで国の借金も先送りにしたまま。一体、何をやっているのかと怒りを通り越して、ため息しか出ない。国会議員となった方々には、あらためて国民の代表であることを肝に銘じてお仕事をしていただきたい。続けて、地方統一選挙がやってくる。これも身近な首長や議員を選ぶ大切な選挙だ。投票へ行こう(タケ)

アドボケイト 12月・1月合併号 (第169・170号)

2014年12月10日発行 (毎月10日発行) HSK通巻第513号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

編集人/NPO法人札幌障害者活動支援センターライフ

理事長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ <http://npolife.net/>

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円